

# 繋 谷地南部っ子

令和6年度 学校便り  
R6. 11. 29  
NO 20  
校長 秋場 一憲

経営キーワード「一步踏み出す力（主体性）」「チーム力（協働・対話）」「考え抜く力（解決・創造）」

## 若手教職員と共に成長する ～ 第6弾 ～

「若手教職員と共に成長する・若手教職員紹介」シリーズ第6弾の今号では、秋場悠斗 助教諭を紹介いたします。今年度より本校勤務となり、5年担任のほかに児童会担当を担っていただいています。

### 一 秋場悠斗 助教諭：落ち着いた対応と一緒に遊ぶ姿が魅力 一

秋場悠斗 助教諭は、大学卒業したばかりとは思えない落ち着いた勤務態度で、学級経営も子供たちへの指導もじっくりと丁寧に行っていることに感心しています。また、管理職や先輩教職員からの指導・助言に真摯に耳を傾け、失敗を恐れることなく実践してみようとする誠実かつ前向きな姿勢にも刺激を受けています。今後、多くの指導技術を身に付けるとともに、社会人としても人間的にもぐんぐん成長していくことを願っています。



子ども目線で寄り添う

#### 【秋場 助教諭にインタビュー】

Q 教員を志した理由は？

A 高校3年生の時に、ここまで育ててくださった人たちに「恩返し」がしたいと思ったからです。

Q 谷地南部っ子の良さは？

A 一人ひとりが他者と違う得意なことに自信を持っているという「個性」です。

Q 今一番がんばっていることは？

A 子供たちにとって身近な大人であることです。（一緒に遊ぶ、困った時に助けてあげるなど）

Q 谷地南部小学校の教職員（職員室の雰囲気）の良さは？

A 1年目の私に、当たり前のように先輩方が体育のことで相談をしてくださり、とても嬉しく思っています。



持久走記録会を進行

6年担任の伊藤教諭と連携協力し、児童会担当として児童会指導を経験する中で、児童会行事の運営や体育委員会の子供たちの指導を意欲的に行っています。

また、休み時間にボール運動などで子供たちと遊び、汗を流しています。中学校体育の教員免許状を保有している強みを生かし、運動好きな子供たちを育てていただいていることに感謝しています。（校長）

## 第5回校内授業研究会で確認したこと・今後活かしていきたいこと

秋場 助教諭が、国語の授業を提案しました。伝記を読み、心に残った「ぐっとポイント」を仲間に伝えることがねらいです。子供たちは何度も読み返し、「ぐっとポイント」を整理し丁寧に説明することができました。村山教育事務所指導主事より、温かい学級経営を価値づけていただいたほか、

◆授業の最後に目指す姿を子供たちと共有し、ねらいを一層吟味し提示する必要がある。

などのご指導をいただきました。

今後、各学年・学級において毎時間の目指す姿を明確にし、ねらいを十分吟味して指導するよう授業改善に努めていきます。



仲間に説明・質疑応答

